

令和7年度購入新着映像教材目録

鹿児島県視聴覚教育連盟（24本）

No.	教材名	時間(分)	対象	分類	内容(教材パンフレットより一部抜粋して引用)
1	みらいロボット ミミーとハットの防犯クイズ	14	幼・小 (低学年)	不審者対策 (防犯教育)	(参加型3D CGアニメ)大人の目の届かないところで、子供を狙う犯罪が増えています。そのため子供たちは「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが大切です。本作品は、クイズ形式です。子供が答えを考えることで、いざという時の判断力を身につけます。
2	チャーリーとこぐまのミモ シーズン2 第2巻	30	幼・小 (低学年)	アニメ	チャーリーはペンギンの男の子。両親と妹と一緒に暮らしています。親友はティディベアのミモ。チャーリーとミモと一緒に遊んだり、いたずらをしながら、大人の世界を探検し、生きていくことを学んでいきます。
3	ねずみくんのチョッキ②	38	幼・小 (低学年)	アニメ	主人公のねずみくんがお母さんに編んでもらった赤いチョッキを、さまざまな動物たちに貸してしまった物語です。動物たちがチョッキを着ていくと、チョッキはどんどん伸び伸びの状態になってしまいます。6話収録。
4	交通ルールは命を守る 小学生の自転車安全教室	18	小	交通安全	子供たちが自転車事故に遭わない、事故を起こさないためには、決められた交通ルールを学び、守ることが大事です。本作品では、新しくなった「自転車安全利用五則」の内容にもとづいて、自転車の安全な乗り方の基本と、ヘルメット着用の大切さをわかりやすく解説します。
5	あなたのクラスは大丈夫？ 悪質ないじめは進行していく	15	小	いじめ関係	校庭の片隅で、秒数を数える繁浦幸太。ずっと変わることがない鬼の役割、授業が始まって解放されないかくれんぼ。これはいじめだろうか？遊びだろうか？
6	小学生の情報モラル教室 スマホを正しく活用しよう！ 1巻 学ぼう！ スマホのトラブルを防ぐマナーとルール	24	小 (中・高学年)	情報モラル	「スマホには情報がいっぱい」(ドラマ)初めてスマホを買ってもらったつばさは、早速友人たちと一緒に写真撮影をします。でもスマホを路上に置き忘れ、パスワードも簡単なものに設定していたため、スマホを拾った見知らぬ人に中身を開かれてしまうことになり…。他2話
7	小学生の情報モラル教室 スマホを正しく活用しよう！ 2巻 考えよう！ スマホを使った上手なコミュニケーション	23	小 (中・高学年)	情報モラル	「気持ちを伝えるために」(ドラマ)あおいは、集合写真をタイムラインに投稿。のぞみとゆうきは写真が勝手に投稿されたことを怒り、あおいは謝りますがその真意が伝わらず、グループ上でのあおい・ゆうき・のぞみのやり取りがエスカレートすることに。その中で、りおなは何もできず…。他1話
8	しずく	15	小 (高学年) 中・高一般	その他	うつ病の母親と二人暮らしの春奈は家事や看病を担うヤングケアラー。「大丈夫」が口ぐせですべて一人で抱え込み、誰にも頼らず生きてきた。同じダンススクールに通う涼斗はそんな春奈の姿を見て自分の気持ちを伝える。
9	ティーンのためのSNS教室 ～いつも心に情報モラルを～ 1巻 誹謗中傷・出会いの危険	24	中・高	情報モラル	あいは、同じ部活でレギュラーのくるみが練習を休んでいることに苛立ちを覚えます。友人からの根拠のない噂を信じ、くるみは部活をサボっていると誤解したあいは、裏アカウントでくるみに対して誹謗中傷を投稿してしまいます。しかし、後にくるみは家庭の事情で休んでいたと真実を知ること…。他1話
10	ティーンのためのSNS教室 ～いつも心に情報モラルを～ 2巻 迷惑動画・闇バイト	24	中・高	情報モラル	クラスみんなを楽しませるために、ファミレスの飲み物で遊んだ動画を撮影し、クラスのグループチャットに投稿した晴人。友人の大成がその動画をSNSに拡散したことで、食べ物を粗末にしたという批判から炎上してしまいます。止まない批判コメントに晴人はなすすべがありません。他1話。
11	いつの間にか拡散 ネットに潜む部落差別	21	中・高一般	情報モラル	ダンス教室で、大会への出場者が発表された。選ばれたのは圭太。ダンス仲間の亮は悔しさを隠しきれず、つい圭太に冷たく接してしまう。次の日、亮は講師の竹川から、圭太が「大会に出たくない」と言っていることを聞かされる。直接圭太の家まで行き理由を尋ねる亮。圭太がSNSで公開しているダンス動画に、部落差別に関するコメントが複数寄せられているというのだ。気にするなよ、と言う亮に圭太は、「なにもわかっていないのに適当なこと言うなよ！」と、家に入ってしまうのだった。
12	みんな笑顔になる日まで	30	中・高	人権教育	本作品は「ヤングケアラー」と「若年性認知症」を描いた作品です。(西崎葵は、若年性認知症の父親・伸行を持つ中学生。仕事に追われるため働く母親・香織の代わりに家事や妹・由奈の世話を担っている。家で勉強する時間をとることさえままならず、学校でも人目を避けてうたた寝をするほど負担を強いられていた…)
13	能登半島地震から学ぶ 今後の地震対策 ～南海トラフ巨大地震・首都直下地震から も行き延びるために～	28	一般	地震・津波	本作品では、能登半島地震から得られた教訓をもとに、今後発生することが予想される南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの大地震から私たちが生き延びるための対策を、被災された方の貴重なインタビュー映像を交えながら、具体的に解説していきます。

令和7年度購入新着映像教材目録

No.	教材名	時間(分)	対象	分類	内容(教材パンフレットより一部抜粋して引用)
14	大人のための自転車安全教室 自転車安全利用五則	23	一般	交通安全	この教材では、リニューアルされた「自転車安全利用五則」を中心に、自転車事故の現状についても紹介しながら、交通事故に遭うことがないように、自転車に乗る上でぜひ知っていただきたい、守っていただきたい交通ルールのポイントについて解説しています。
15	知らなかったでは済まされない！ STOP！無自覚交通違反	16	一般	交通安全	ドライブレコーダーの実際の事故映像と、役者が演じる再現VTRを織り交ぜて構成し、視聴者と共に考える形でナビゲーターが正しい運転を解説していく講習教材です。
16	山田邦子の特殊詐欺から財産を守る 4つのポイント	23	一般	消費者教育	本作品では、「アポ電強盗」の実情を取り上げ、騙されてしまった側と騙した側の2つの視点を描き、特殊詐欺から財産を守るポイントを紹介します。さらに「サポート詐欺」「キャッシュカード詐欺」「還付金詐欺」など、巧妙で複雑化した詐欺の事例を紹介し注意喚起を促します。
17	個性なの？障害なの？ ～早く知っておきたい発達障害～	18	一般	人権教育	子供たちが発信する様々な信号をしっかり受け止め、まず理解することが、発達障害の子供たちを困難や苦しみから救い出す大きな力になることを伝えます。また、心配な症状に気が付いた時の対処法、相談窓口を伝えます。発達障害の子供にも苦手な部分・得意な部分があることを知り、親や周りの人たちが良く理解し支えることで、子供たちが生き生きとした素晴らしい人生を送ることが出来ることを訴えます。
18	交わす言葉通う心 障害のある人と共に生きる	23	一般	人権教育	視覚障害を持つ伊東一馬さんの勤める会社では、障害のある人となない人が一緒に働いています。誰もが同じ立場で仕事ができるように作られたルールや社員がお互いに大切にしていること。視覚障害を持つ人の日常での困りごとや私たちにできることを聞きました。他2ケース
19	これからの時代のハラスメント対応 1巻 パワハラグレーゾーン とカスタマーハラスメント	24	一般	人権職 教場育	第1巻は、「指導かパワハラか」という難題を、当事者2名と同僚という3つの視点から解説する斬新な内容。さらに近年、大きな問題となっている「カスタマーハラスメント(カスハラ)」への対処も解説します。
20	これからの時代のハラスメント対応 2巻 ダイバーシティとハラスメント	22	一般	人権職 教場育	第2巻は、社会環境の変化に対し個人や組織はどう対応していくべきかを、ジェンダー、就業形態やLGBTなどテーマごとに解説。さらにハラスメント防止のために、マネージャーが学ぶべきコミュニケーションスキルも紹介します。
21	ゴミ屑と花	30	一般	その他	ゴミ収集の現場を舞台に、様々な社会層と交流しながら一夜を過ごす主人公の浩一と花。深夜の街を往くゴミ収集車の車内で展開される主人公のふたりの交流は、ロードムービーのようでもある。彼らの仕事を通じて見えてくるのは、現代社会の縮図とも言える多様な人々との出会い、当たり過ぎて普段気づかないありがたみや思いやりを丁寧に描いた作品です。
22	子どもがSNS犯罪に？ 巻き込まれないための対策	22	指導者 保護者	情報モラル	本作品は、指導者・保護者向けに、子供たちに人気の様々なSNSで起きうるトラブルと注意点についてご紹介しています。他人を傷つける書き込みをしない、下着姿や裸の写真は、撮らない・撮らせない、他人に要求しない・他人に送らない、悩みや感情をネットにさらけ出さない、位置情報を登録する相手は身近な人に限る、など子供がSNS犯罪に巻き込まれないための対策について解説します。
23	発達障害をどう理解する？ どう支援する？ 特性を活かせる教育現場とは…	26	指導者 保護者	人権教育	作品を監修された是枝先生から、発達障害に関する解説や、日本の教育現場が目指すべき子供のための環境作りについて伺います。また、幹之佑さんの周囲の方々(学校の恩師や母親など)に話を伺って、特性がある子供との向き合い方を考えていきます。
24	自分で考えよう みんなで考えよう コミュニケーションのある学級づくり	27	教職員	教職員向け	本作品では、人前でひとまとまりの話を筋道立てて話すスピーチ、相手と意味や感情を伝え合って新しい気づきや発見を生み出す対話、相手の話をよく聞いて議論できる力を効果的に伸ばすディベートの3つを取り上げています。これからの生きる子どもたちに必要なコミュニケーションの力です。